

# つばさ

平成28年7月20日発行  
富山県立となみ総合支援学校  
進路支援部

## 将来の社会生活・職業生活に向けた各学部の実践

<卒業後の生活を見据えた、それぞれの学部の段階での実践を紹介します。>

### 小学部 生活単元学習「お手伝いをしよう」

各学年の生活単元では、6、7月はお手伝いについて学習しています。5・6年生では、洗濯・掃除・食事の3グループに分かれ、手順カード等を手がかりに学校で練習を行いました。

のばして  
干そう。



洗濯グループ

干す、畳む、分けるなど

隅々まできれ  
いにしよう。



掃除グループ

掃除機で床掃除など

しっかりすす  
ごう。



食事グループ

台拭き、食器洗い、食器拭き、  
食器棚にしまうなど

それぞれのグループで、洗濯物をしっかりとのばして干すなど、上手にできるためのポイントを聞いて練習に取り組みました。なかには、家の方の協力をいただき、自主的に家庭で台拭きなどのお手伝いをした子供もいました。「家事ができる子供はどんな仕事でもできる」という職場の声があります。できることに注目し、家事の手伝いを通して家族の一員としての意識を高めていきましょう。

### 中学部 前期校内実習 6月20日～6月24日

中学部3年生は前期校内実習を行いました。毎日、2限から6限まで、割り箸の袋入れ、ペットボトルのキャップ洗い、ボールペンの組み立て・分解などの作業に取り組みました。暑い中、最後まで立ち作業を続けたり、細かい所の汚れをきれいに落としたりなどみんな一生懸命に取り組むことができました。作業量も徐々に増やすことができました。とても貴重な体験をすることができました。



ボールペンの組み立て・分解



割り箸の袋入れ



ペットボトルのキャップ洗い

働く意識や意欲をもてるように、作業学習、校内実習や生活単元学習等を通して、社会や家庭での仕事について考えたり、体験したりします。

高等部では、6月と11月に就業体験及び校内実習があり、1年生は2週間の校内実習、2年生は最長2週間、3年生は最長3週間の就業体験を行います。

校内実習 ～校内で働き続けることに慣れる～

1年生は、受注班、窯業・園芸班、手芸班、基礎作業班、清掃班の5つの作業班に分かれて、1限から一日中、作業実習に取り組みました。職場での好ましい態度やマナーを身に付けるため、時間を守る、挨拶や返事、身だしなみなどにも気を付けて、一人ひとりが目標をもって、2週間頑張りました。



手芸班

封筒づくりでは、立ち仕事をがんばって続けました。

これからも、大きな声で、返事、報告することをがんばります。



窯業・園芸班

花器作りや玉ねぎの収穫を行いました。指示を守り活動することができました。

就業体験 ～校外で体験を積む～

2・3年生の就業体験は、体験先の企業や福祉作業所等のご理解とご協力により、それぞれの生徒が充実した体験をすることができました。保護者の方には、体験期間中の弁当や持ち物の準備、日誌の記入、送迎等、生徒の体験をサポートしていただきました。

体験前は不安や期待の様子が見えましたが、実際の職場での体験を通して、「挨拶や報告ができました」「正確な作業ができました」と、目標を達成して自信がついた表情が伺えました。2年生は自分に合った進路を探しながら、3年生は進路先の決定を目指して、11月の後期就業体験も頑張ります。

<一般企業>



秋田運輸

カゴ車の整列をしています。荷物が入ったカゴ車を力を入れて押ししました。また、床のラインに沿って丁寧に並べました。

<就労継続支援A型>



ORION ジュピター

箱折りや梱包用の紙材を作る作業をしました。正確にできるように慎重に取り組みました。

<就労継続支援B型>



みんなの台所

タオル畳み、食器洗い、食器拭き、掃除などを行いました。「指示に従い、しっかり作業できました。洗い物を多くしてくれたので助かりました」と褒められました。

<生活介護>



花椿きらめき

結束バンドの仕分けなどをしました。一人で取り組むことができました。報告もできました。

卒業後の社会生活に向けて、準備をしていくために、(小学部) 家庭で働く→(中学部) 学校で働く→(高等部) 社会で働くと、段階的に少しずつ働くために必要なことについての学習に取り組んでいます。